臺灣日日新報

總蹶起の必勝完戰
國内諸體制決戰化
行政措置にも根本手法

完勝國策を徹底
協力會議議案出揃ふ

内閣、各省委員更改
運用大刷新、翼政より要望

運用に新機軸

印度獨立に邁進
蘭貢で盛な印度民衆大會

東條聲明に感謝
印度獨立比島聯盟支部大會

英國は狼狽
ボース氏東京出現に

ソロモン米軍基地攻撃

ルツセル島爆撃

空の要塞廿五撃墜
邀撃の獨戰闘機大戰果

國民政府臨時最高國防會議

伊國の防備は鐵壁
米英軍上陸せば斷乎粉碎

伊空軍の活躍

獨軍完璧の防空戰

けふ臨時閣議

米潜水艦沈沒發表

米英機の損害累增
六月中旬に五百機に達す

獨來襲米英機五十五機撃墜

ツアプセ港を猛爆

舊重慶系の四銀行更生

藪蛇か罷業彈壓法
米の内的矛盾、一時に爆發

彈壓法

上院は

ル大統領の意向米上院全く無視
農産物價統制權骨抜き

開戰以來の暴風

藪蛇の

淺薄なる樂觀論の表面に浮ぶ米罷業

ルーズベルトの法案を米下院否決

彈壓法成立に挑戰
東部炭田罷業更に擴大

何故國民貯蓄の最高峰か？

◇確實だから　保險は正確な計算の上に經營され然も會社には四十五年の歴史がある

◇長期性があるから　今日預けて明日引出して國家の御用に立たぬ決戰下長い貯蓄が第一

◇有利だから　決戰的に改正されて割增保險金がつく上に利益配當が多い（他に類例の稀な特約附保險あり）

第一徴兵

第一徴兵保險會社 臺北支部・臺北市京町四ノ一

キング改題

富士

七月號・四十錢

山本元帥の英魂を迎へて　吉田絃二郎

山本元帥

▲貯蓄で敵を仆せ　大日本靑年團　賀屋興宣
▲汪精衞氏を語る座談會
▲戰ふ鑛山感激座談會

現代小説　海の男　川端克二
時代小説　使者　土師淸二
現代小説　御盾　山岡莊八
時代小説　高杉晉作　尾崎士郎
現代小説　小さな掌　龜井三谷

設營り二十五儀の名人訪問記
一人子を幼年學校に入學させた父の手記

時代小説　白石城死守　山本周五郎

大日本雄辯會講談社

公論

七月號

支那事變の眞の意義…中柴末純
山本五十六元帥…齋藤忠
アッツ皇軍弔魂…志村陸城
（歌）みさゝぎのべ…影山正治
悲願繼承の教育…淺野晃
皇國學徒の本務…滿田巖

創作　堺事件　藤田德太郎

皇國經濟の現狀を論す　難波田春夫・布川省三・西谷彌兵衞

婦人に檄す　各界諸家三十五氏

日本思想戰大綱…花見達二
神のふるみち…蓮田善明
天壤無窮…鈴木重雄

第一公論社

日本評論

七月號　七十五錢

近代海戰と航空兵力…村田…郁二
日南古俗の一致…新村出
支那旅行…武者小路實篤
小學大學の方向…小塚新一郎
制構…上林曉

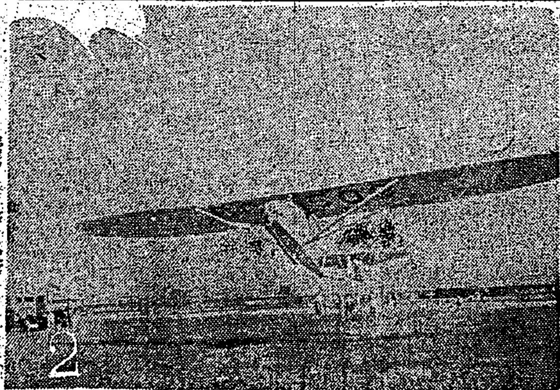
特輯　民族政策の視角

東洋樞軸論…橘樸
日本民族の東亞的性格…肥後和男
民族政策の根本理念…古屋芳雄
民族文化の指導について…小山榮三
日本人の大きさ…淸水幾太郎
廣域秩序の問題…大澤章
植民地の運命…天澤不二郎

日本評論社

高き矜り＝祖國を擔ふ
學園の若人起て！

[illegible]老いも若きも一丸となつて一億の力を一つに凝集[illegible]若き學徒よ、今こそ銃劍を執つて起つべき秋は來た、[illegible]ありがたき聖代に生を享け學びの庭にいそしみ培つた諸君の情熱を最高度に發揮する榮譽の日は眼前にある、[illegible]英靈忠魂に應へずして何の日本に生を享けたる學徒ぞや、見よ敵米英の學徒は武裝して諸君に戰ひを挑んでゐる、彼らを邀へ撃つものは諸君である、[illegible]太平洋上に敵學徒と雌雄決する覺悟はよいか、[illegible]



◇…アメリカ本年度卒業予定の大學、高專學生二十五萬人の中八割の廿萬人をすべて操縦士、技術員に仕立てて[illegible]しつつある太平洋の決戰場へ送り出さうと企畫してゐる

◇…しかも今年の飛行士、操縦手の大部分が學生出身だと聞く、まさしく敵アメリカの學生はわが學生に戰ひを挑んで來たのだ、今こそ學生は祖國のため力強く[illegible]する秋が來たのだ"學生よ、[illegible]大空へ"の運動は一個の合言葉となつて[illegible]が一度發表されるや愛國心に燃ゆる若人は續々と志願をなし志願者だけでも一萬人を超えるといふ

◇…しからば南への基地臺灣の學徒はどうだらうか、大東亞戰爭勃發以來[illegible]にも[illegible]は高らかに響き、[illegible]に強く起ち上つたのである、そして[illegible]の生活は[illegible]ところに集中した

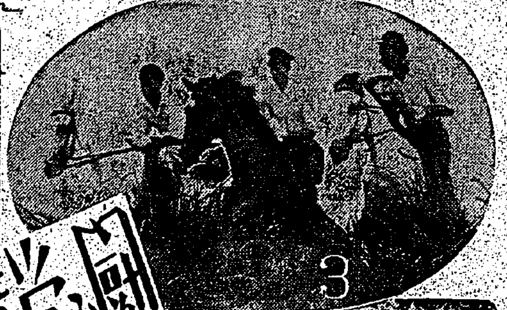
◇…若き學徒の覺悟は決意はいざ有事に[illegible]し一旦お召の日來らば直ちに干戈を執りて[illegible]米英[illegible]の決戰場へ、征くこそ征かんとの心構へは出來てゐるのである、さればこの榮光の日に備へ、學徒の錬成は今や[illegible]火の如き激しいものがある

◇…大空へ、[illegible]の學生との一騎打ちに、この[illegible]で鬼畜米英の兵をひと突きに、[illegible]に踏みつぶさんと[illegible]に自動車に[illegible]しくくり[illegible]げられる南國の太陽はヂリヂリと照りつけて[illegible]える學徒の意氣は[illegible]もひるみない

◇…それこそ月火水木金金の[illegible]だ、また[illegible]を[illegible]げて食糧増産の一翼をになふ、一鍬々々が下ろされ、大地は[illegible]て行く、その[illegible]な處女地にはやがて水稻が黄金色の波打つてゆたかに[illegible]りさつまいもも出來るであらう、學徒は今こそ[illegible]しみにしてゐた五十日間の[illegible]も喜んで[illegible]力増强に[illegible]げんとするのである、なんと頼もしい[illegible]の學徒ではないか

◇…[illegible]學徒、[illegible]に[illegible]へてたち上つた學生の力強い[illegible]ここに[illegible]ることとする

闘ふ學徒



【寫眞(一)[illegible]】(2)は[illegible]大空を切つて[illegible](3)は[illegible](4)は照りつける[illegible]

決戰下、學徒に望む
＝學園もまた戰場である＝
文教局學務課長　梅谷修三

[illegible]

千古 [illegible]

支那 [illegible]

今や [illegible]

今次 [illegible]

學徒のすがた
井上雅二

[illegible]

戰力 [illegible]

首途に贈る言葉
臺北帝國大學總長　安藤正次

[illegible]

時局 [illegible]

聞け、この熱意

私も志願する
信念を語る岩里君
臺北高校

[illegible]

用意は出來てゐる
臺北高商　明比君の熱意

[illegible]

"捨石となる覺悟"
臺大豫科・恒良、岡崎兩君

[illegible]

いざ征け大空へ
空の先輩に續け

[illegible]

海軍豫備學生募集要項

[illegible]

新使命の下に全學の動員を
臺北帝大豫科　田中旗智

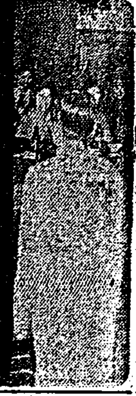
[illegible]

捧げん吾子を大空へ
——雄々し日本の母　松平夫人の決意——

[illegible]

久邇宮大妃殿下 鬪ふ女性御視察

[illegible]



患者 [illegible]

第四期決算公告 [illegible]

長男小太郎儀 昭和十八年一月以來病氣ニテ自宅療養中ノ處藥石效無ク六月二十六日午[illegible]

日本は勝つ　原敬傳　高杉晋作　久米榮左衛門　平賀源内　好評傳記選書　高山書院

貯蓄は銃後の彈丸　第一生命保險相互會社　東京　日比谷

体力は戰力だ！
食欲不振　消化不良　榮養障碍
純性酵母劑　バンドマン錠

絶對優秀　國產鋼使用　アドミラル安全剃刀　東京　高橋東洋堂

頭を明快にいたしませう　ずつうにサール　三十錠　五十錠　一円　藥店にあり

働く女性の身嗜みに　資生堂　鳥の子粉白粉

久邇宮大妃殿下 闘ふ女性御視察
佐賀縣下に成らせらる

【佐賀電】皇后陛下の思召を體し…久邇宮大妃俔子殿下には佐賀縣下御視察のため廿四日午後…

白衣の奉公に挺身 前線に數々の勳し
第一回派遣の 看護助手一部還る

忘れられぬ一年有餘
教官、看護助手に思出聽く

看護助手一行元氣に歸北

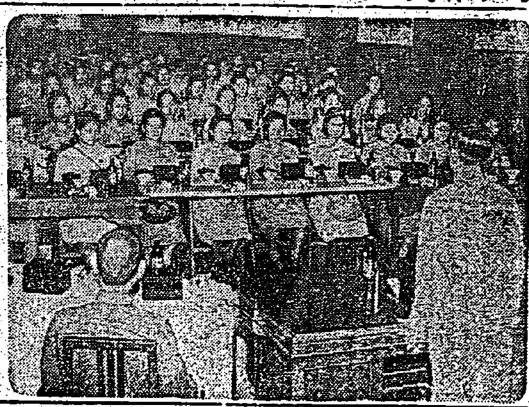
純情

軍隊

病院

戰場

けふ解隊式・家郷へ



勞苦を犒ふ晩餐會

患者

勇士

命中

頭巾

心身に刻付く〝皇軍魂〟
大學、高專教授部隊の營內訓練終る
學生薫育に成果期待さる

將兵に戰友の親しみ
杜聰明教授　營內訓練の感想語る

軍事

兵器

安藤

職域

歸還

明治

勤勉な內地の人々
上野正義君　山の同胞を手紙で激勵

働き

全彈ほとんど命中
中軍　對空射擊會好成績

敵機

指頭火花散らす熱戰
全島珠算競技會盛況

ビルマ文學を再興
訪日視察團長抱負披瀝

血液型を知れ
東京市で無料檢査

建艦獻金の街頭募集

第一級清酒　味淋が決る

石黒臺銀總支配人

ますらを
榮養化學研究所

デルモライツ

今日の映畫
大世界館　台灣劇場　新世界館　芳乃館　芳明館　國際劇場　臺灣演藝館　第三世界館　太平館　中央劇場　基隆世界館　旭劇場　大和劇場　羅東座　基隆劇場　臺北州合同興行會社　東寶國際館

第四期決算公告
臺灣水產興業株式會社

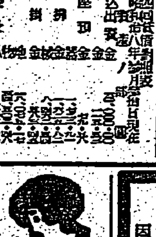
ポプラ印
イソキと米糊
高級　萬年筆用　筆記用　各種
高級　文房糊　卓上用　工業用
發賣元　近藤商會

勞務員募集
家屋大工　六名
建具大工　六名
左官　四名
日本鑛業株式會社　金瓜石鑛山事務所

移轉御挨拶
東京海上火災保險株式會社　臺北出張所
臺北市本町四ノ二七

從業員募集
鐘淵曹達工業株式會社臺南事務所

戰時だ！　實行致しませう！
◉防空と貯蓄の御用意は？
◇投資の御相談は「はまや」へ
濱屋商事株式會社

ダンタンは風の妙藥


長男小太郎儀　昭和十八年二月以來病氣ニテ自宅療養中ノ處藥石効無ク六月二十六日午前十一時三十五分永眠致候ニ付此段謹告仕候
父　川平幸太郎
親戚一同
友人一同
恩給金庫

鬼畜米英を擊滅

臺南國民大會 熱血の決議

聽け、擊滅の雄叫び

而して忠魂に應へ奉らん

軍艦旗の下敵擊滅

力强き馬公の海志講演會

適格者六千名 志願

行け、海軍へ

山の青年も決意示す

受付準備に萬全

三十日臺中神社で大祓式

一死報國を誓ふ

熱烈大湖郡青年一同

あゝ麗し戰友愛

武勳の海野軍曹宅に

前線より贈る『追悼錄』

皇奉宜蘭市支會常會

北港街奉壯の國語常用運動

高橋大將の時局講演

臺中市七月九日に開催

天理教信徒が清掃奉仕

食糧增產へ部落總會

羅東街で部落運營の懇談會

生徒教養の刷新へ

高雄州實業補習學校長會議

貯蓄に示せ婦人の力

彰化郡日婦で記念常會

日大校友會

高雄山林事務所落成

管內の造林計畫を見る

臺中州醬油工業會社創立準備會

國民皆泳の實あげよ

高雄で皆泳運動鍊成會

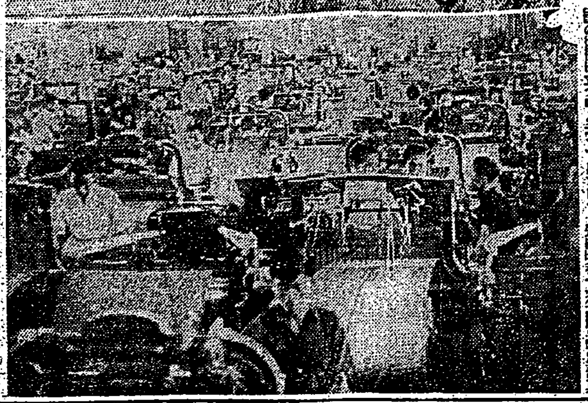
田中參謀工場防空狀況視察

臺南の桔梗祭

高雄市民の赤心

空の防人へ寄金つゞく

ジヤワの痲袋製產



愉快にやつてゐます

看護助手より懷しの便り

私達

かく

慰問

ラヂオ

第一放送

第二放送

赤誠の獻金

軍司令部(六月二十七日)

國防獻金

アツツ島玉碎將兵の英靈に香華料

恤兵金

獻品

大いなる祭 (170)

中野實 作 三芳悌吉 畫

大いなる祭(一)

徳田の あせ知らず

アセモ タヾレと 湯上りに

本舗 徳田商店 東京

中年の奥様へ

女性ホルモン ギナンカプセル

發賣元 友田合資會社

肺病ろくまく

全快者 發表の 專門藥

中風藥 胃腸劑 治淋劑 驅毒劑

有田ドラッグ

齒科 澤熊醫院

齒科 鎌田醫院

萬媒